

# 総務教育常任委員会資料

(令和4年9月20日)

## 【件名】

- ・ 令和4年度鳥取県庁における障がい者雇用率（速報値）について  
（教育総務課）・・・ 2
- ・ 鳥取県立夜間中学基本的構想【コンセプト】（案）に係るパブリックコメントの  
実施結果等について  
（小中学校課）・・・ 3
- ・ 鳥取県立博物館が主催する展覧会における入場者数の新記録達成について  
（博物館）・・・ 6
- ・ 令和4年度全国高等学校総合体育大会の結果について  
（体育保健課）・・・ 7
- ・ 令和4年度全国中学校体育大会の結果について  
（体育保健課）・・・ 9

教育委員会

## 令和4年度鳥取県庁における障がい者雇用率（速報値）について

令和4年9月20日  
人事企画課  
教育総務課  
病院局総務課

今年度の本県の障がい者雇用率（6月1日現在・速報値）がまとまりましたので報告します。

### 記

#### 1 本県の障がい者雇用率

【令和4年6月1日現在の雇用状況】

任命権者	障がい者雇用率	障がい者数（実数）
知事部局	3.42%	89人
教育委員会	2.74%	112人
病院局	2.77%	21人

法定雇用率 2.6%（教育委員会 2.5%）

知事部局には企業局を含む。

本数値は速報値で、厚生労働省が12月頃に確定させ、翌年公表する。

<参考：障がい者雇用率の推移>

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度 （速報値）	...	R6年度 （目標値）
知事部局	3.17%	3.21%	3.25%	3.29%	3.32%	3.42%		3.50%
教育委員会	2.60%	2.55%	2.16%	2.42%	2.58%	2.74%		2.50%
病院局	2.39%	2.51%	2.52%	2.73%	2.63%	2.77%		2.65%

#### 2 本県における障がい者雇用推進に向けた取組

令和2年度に鳥取県障がい者活躍推進計画を策定し、この計画に基づき、障がいのある職員の職場定着のための「相談窓口の設置」や、障害者就業・生活支援センターなどの専門機関との課題認識の共有や連携のための「障がい者雇用推進チーム会議の開催」などに取り組んでいる。

<これまでの県の障がい者雇用促進のための取組>

開始時期	内容
平成6年度～	身体障がい者を対象とした正規職員採用試験を開始
平成20年度～	知的障がい者を対象とした非常勤職員採用試験を開始し、障がい者ワークセンターを設置
平成25年度～	非常勤職員採用試験において身体障がい者対象枠を新設
平成26年度～	ワークセンターの採用者に精神障がい者を対象に追加
平成28年度～	知的障がい者、精神障がい者を対象とした正規職員の採用試験を実施
令和2年度～	鳥取県障がい者活躍推進計画を策定（R2.4） ・障がい者雇用推進チーム会議の開催 ・障がいのある職員相談窓口の設置

鳥取県立夜間中学基本的構想【コンセプト】(案)に係るパブリックコメントの実施結果等について

令和4年9月20日  
小 中 学 校 課

鳥取県立夜間中学がどのような学校を目指しているかを周知するため、鳥取県立夜間中学基本的構想【コンセプト】(案)に対するパブリックコメントを実施しましたので、その結果を報告します。

また、結果をふまえ別添のとおりコンセプトを策定するとともに、これを一般に広く周知し、校名募集を開始することについて報告します。

1 鳥取県立夜間中学基本的構想【コンセプト】(案)に係るパブリックコメントの実施結果について

(1) パブリックコメントについて

- ア 募集期間 7月22日(金)～8月19日(金)
- イ 周知方法
  - ・小中学校課及び県民参画協働課のホームページで公開
  - ・県立図書館、県民参画協働課及び県の各総合事務所及び各市町村の窓口チラシを配架
  - ・新聞広告を掲載
- ウ 意見数 26件(19名)
- エ 主な意見と対応方針

意見概要	対応方針
<p>【目指す学校の姿】 「情熱・熱意を実現する」というような力強さもあってよいのではないか。</p>	<p>夜間中学は、学びたいという強い気持ちのある者であれば誰でも、何歳になっても入学できることが文部科学省により示されている。 今回のコンセプトは、それを前提としたうえで、本県らしさを表現したものとしている。 今後、コンセプトを基に作成する学校教育目標、目指す生徒像等の参考とする。</p>
<p>【「社会の中で生きる」よるこび】 集団で過ごすのが苦手な方もいると思うので、そういった方にも居場所のある環境であってほしい。</p>	<p>夜間中学では、世代や国籍、これまでの経験の違いなどの多様さを大切にしながら、すべての生徒の居場所づくりに努めていく。</p>
<p>【その他】 ・鳥取県らしいコンセプトになっている。 ・県民に知ってもらうことが大切。</p>	<p>10月にシンポジウム及び個別相談会を予定している。その後は、体験授業や学校説明会も計画しており、併せて個別の面談や関係機関の訪問、SNS等での情報発信を随時行っていく。</p>

<コンセプト(案)以外への意見>

意見概要	対応方針
<p>【決定済事項に対するご意見】 ・中・西部への分教室の設置又は通信教育の実施ができないか。 ・不登校学齢期生徒の受け入れができないか。</p>	<p>県立夜間中学設置後、中・西部地区においても入学のニーズが高まることが想定されることから、分教室等の設置の検討を継続するとともに、不登校の学齢生徒への支援についても、市町村教育委員会やフリースクール等の関係機関と連携し、不登校特例校等の設置も視野に入れながら更なる支援策を検討していく。</p>
<p>【今後決定していく事項へのご意見】 ・LD等専門員やカウンセラーなど、生徒の状況に応じた職員が配置できないか。 ・様々な体験ができる工夫を。</p>	<p>教職員の配置や教育課程の編成は、今後、県立夜間中学設置準備等に係る懇談会からもご意見をいただきながら検討していく。</p>

(2) コンセプト策定について

パブリックコメントの結果、コンセプト案に対する肯定的な意見をいただくとともに、コンセプト案の修正を強く求める意見はなかったこと、またこれまでの県立夜間中学設置のあり方についてもさらに前向きな意見をいただいたことから、9月8日の定例教育委員会において意見を伺った上で、別添のとおりコンセプトを決定しました。

2 県立夜間中学の校名募集について

コンセプトを広く周知し、校名の一般公募を実施します。

募集期間(予定) 令和4年9月21日(水)~10月20日(木)

3 今後の予定

コンセプト策定に関連する主な予定は、以下のとおりです。

令和4年9月21日~10月20日	校名募集	
10月2日	県立夜間中学シンポジウム開催、個別相談会開始	
11月上旬	県立夜間中学設置準備等に係る懇談会(第2回)	校名候補選定
11月中旬	定例教育委員会	校名決定
12月中旬~1月中旬	校歌歌詞、校章募集	
12月下旬	作曲依頼者決定	
令和5年2月	県立夜間中学設置準備等に係る懇談会(第3回)	歌詞、校章候補選定
3月	定例教育委員会	歌詞、校章決定
9月下旬	校歌制作完了	
令和6年4月	開校式典で校歌、校章披露。校名、校歌(歌詞)及び校章応募者表彰	

## 鳥取県立夜間中学基本的構想【コンセプト】

令和4年9月20日

鳥取県教育委員会

## 目指す学校の姿

「いろとりどり[色鳥取]に、ともに自分らしく学ぶ」

世代や国籍、これまでの学びの経験の違いなどを超えたさまざまな人たちの思いや考え方にふれ、ともに学び合うことをとおして、自分らしい学びを実感できる学校。

## 県立夜間中学3つのよこび

## (1) 「学ぶ」よこび

生徒一人ひとりの願いや、これまでの学びの経験に合った学習計画を立てて学びます。

「学びたい気持ち」に先生がしっかり寄り添い、安心して質問ができ、何度でも説明してもらうことができます。

教科や学年の枠を超えて学び合ったり、パソコンやタブレットを使ったりして、一人ひとりの「わかった」「できた」が大切にされます。

## (2) 「つながる」よこび

ともに学び合う仲間とのつながりを大切にし、お互いの存在を認め合い、安心して生活することができます。

学級活動や遠足などの行事を行いながら、語り合い、力を合わせ、ともに楽しみます。

生徒同士、先生と生徒だけでなく、地域の方をはじめ学校外のさまざまな人とも出会い、つながり合います。

## (3) 「社会の中で生きる」よこび

鳥取の歴史や文化などにふれる体験的な学びから、「ふるさと鳥取」に生きるよこびを実感します。

自分のペースに合わせたさまざまな学びを積み重ね、高校などへの入学や働くために必要な力と自信がつきます。

安心して学ぶことができる環境の中で、ともに成長し、卒業の先にある夢や目標に向かっていきます。

いろとりどり[色鳥取]とは・・・

鳥取県が目指す夜間中学は、ダイバーシティ(多様性)を生かした学び合いの中で、引きこもりの方や外国籍の方などが社会(ふるさと鳥取)とつながることを後押しするなどの役割を持っています。

いろとりどり[色鳥取]とは、「ふるさと鳥取」の中で、いろんな色(国籍、性、年齢、学習歴など、さまざまな事情や背景などを含めた個性)を出しながら「のびやかに学んでいこう」、「社会(ふるさと鳥取)とつながりを持ちながら次の未来にはばたいていこう」というメッセージを込めています。

# 鳥取県立博物館が主催する展覧会における入場者数の新記録達成について

令和4年9月20日  
博 物 館

この夏開催した企画展「ティラノサウルス展」は、開館50周年の年に多くの県民に御来館いただけるよう、これまでの開催経験を基に企画したものでしたが、その入場者数が昭和47年の博物館開館後の企画展で最も入場者が多かった「松方コレクション展」(昭和51年・5万2千人)を超えて、新記録を達成したので報告します。

<今回の入場者数>

64,139人(うち高校生以下31,793人、大人32,346人)

## 1 新記録を達成した企画展の概要

- (1) 名 称 ティラノサウルス展 ~T.rex 驚異の肉食恐竜~
- (2) 会 期 6月18日(土)~8月28日(日) 休館日を除き68日間
- (3) 主 催 ティラノ展実行委員会(鳥取県立博物館、日本海テレビジョン放送(株))・読売新聞社
- (4) 入場者数の経過
  - ・6月28日(火) 10,000人達成 (休館日を除き 9日目)
  - ・7月23日(土) 30,000人達成 ( " 32日目)
  - ・8月19日(金) 52,297人新記録達成 ( " 59日目)
  - ・8月28日(日) 64,139人で閉幕

## 2 主な取組等

- (1) 中国地方初公開の骨格標本、動く恐竜ロボット、インタラクティブ映像など充実した内容
- (2) 従来の夏の企画展より約1か月早い、夏休み前から開幕  
小学校12校(447人)、中学校4校(108人)、高等学校6校(184人)の団体入館
- (3) 夏休み期間に放課後児童クラブで来館していただくよう、東部地区の全クラブに案内文書送付10クラブ(330人)の団体入館
- (4) 鳥取市と連携して、全国的に話題となった「ティラノサウルスの着ぐるみ」を使ったイベントを開催し、SNS(ツイッター、フェイスブック)で拡散  
ツイッターへ投稿したものは合計200万件以上の閲覧数を獲得。また、これを受けて多くのマスコミに企画展を取り上げていただき、情報の拡散がさらに進む好循環となった。  
6月20日(月)：ティラノサウルス展を見るティラノサウルス展  
7月16日(土)：ティラノサウルスコンテスト及びT-REX×鳥取城跡・仁風閣フォトスタンプラリー
- (5) 近隣4施設(県立博物館、仁風閣、やまびこ館、わらべ館)が連携してイベント情報を発信できるよう「鳥取城跡周辺ミュージアム連携チラシ」を作成配布
- (6) 博物館への来館が難しい特別支援学校の児童のための、オンライン会議システムを使ったオンライン展示解説を実施

## 【参考】入場者数ベスト5

区分	企画展名	年度	入場者数(人)
1	ティラノサウルス展 ~T.rex 驚異の肉食恐竜~	R4	64,139
2	国立西洋美術館所蔵 松方コレクション展	S51	52,296
3	大恐竜展	H27	30,504
4	遙かなる進化 ~恐竜・マンモスそしてホモ・サピエンス~	H17	27,111
5	失われた生物 ~化石の世界~	S52	25,583

## 令和4年度全国高等学校総合体育大会の結果について

令和4年9月20日  
体育保健課

令和4年度全国高等学校総合体育大会（夏季大会）四国大会に参加した本県選手団の成績について報告します。

- 1 開催期間 令和4年7月23日（土）から8月23日（火）まで
- 2 開催地 ・全日制大会 四国ブロック及び和歌山県  
・定通制大会 東京都、神奈川県
- 3 選手団 30競技：総合計623名  
(選手：491名、監督・引率：129名、本部役員：3名)

### 4 結果概要

- (1) 相撲 団体戦で鳥取城北高等学校が2年連続5度目の優勝  
個人戦で松井奏<sup>まついかなど</sup>人選手（鳥取城北3年）が2位
- (2) 水泳（飛込） 佐々木音華<sup>ささきおとは</sup>選手（米子東2年）が女子高飛込、女子板飛込の2種目で優勝。（山陰勢の女子として初の2冠）学校対抗得点でも優勝
- (3) ホッケー 八頭高等学校が男子団体で3位。準決勝進出は初
- (4) サッカー 米子北高等学校が3位
- (5) レスリング 中野咲羅<sup>なかのさくら</sup>選手（鳥取東1年）が、女子74kg級で3位

### 5 入賞者（8位以内）一覧【網掛は3位以内】

団体6種目、個人14種目の入賞（8位以内）がありました。

競技名	種目	順位	名前	高等学校名	備考
相撲	団体	優勝		鳥取城北	2年連続5度目
	個人	2位	松井奏 <sup>まついかなど</sup> 人		
		5位	ソソルフォー 成田力道 <sup>なりたりきどう</sup>		
水泳（飛込）	女子高飛込	優勝	佐々木音華 <sup>ささきおとは</sup>	米子東	山陰勢の女子として初の2冠
	女子板飛込				
	女子飛込学校対抗得点				
ホッケー	男子団体	3位		八頭	準決勝初進出
サッカー	男子団体	3位		米子北	
レスリング	女子74kg級	3位	中野咲羅 <sup>なかのさくら</sup>	鳥取東	
ボクシング	男子ミドル級	5位	川端響喜 <sup>かわはたひびき</sup>	米子	
水泳（競泳）	女子100M背泳ぎ	5位	宮城歩優 <sup>みやぎあゆ</sup>	鳥取城北	
陸上競技	男子やり投げ	6位	森澤知慶 <sup>もりさわとものり</sup>	鳥取西	
弓道	男子個人	7位	浜田 勝 <sup>はまた かつ</sup>	倉吉西	
自転車競技	女子2km個人パシュート	7位	谷上美愛 <sup>たにがみ みえ</sup>	倉吉西	
	男子スプリント	8位	井上功志 <sup>いのうえこうし</sup>		

競技名	種目	順位	名前	高等学校名	備考
ボート	男子ダブルスカル	7位	井上大誠 佐々木静基	米子工業	
	舵手つきクォドルプル	7位	中村端成 結城星羽 大畑奏輔 竹山楓人 小谷康太郎	鳥取城北	
定通制バド ミントン	女子個人	8位	山福柚月	米子白鳳	
定時制陸上 競技	女子走り幅跳び	7位	窪田百恵	鳥取緑風	



## 令和4年度全国中学校体育大会の結果について

令和4年9月20日  
体育保健課

令和4年度全国中学校体育大会に参加した本県選手団の成績について報告します。

- 1 開催期間 令和4年8月17日(水)から8月25日(木)まで  
駅伝・スキー種目等は別日程で冬に開催
- 2 開催地 北海道・東北ブロック
- 3 選手団 9競技  
団体 : 9チーム(男子:5チーム、女子4チーム)  
総人数: 82名 (男子:47名、女子:35名)
- 4 結果概要
  - (1)相撲 個人戦で<sup>にしむらかずま</sup>西村和真選手(東伯中3年)が優勝。優勝は第37回大会以来、15年ぶり2人目
  - (2)水泳(飛込)<sup>きたのやまと</sup>北野大和選手(溝口中3年)が、男子3M飛板飛込で6位
  - (3)水泳(競泳)<sup>うえすぎりん</sup>上杉凜選手(福米中3年)が、女子100M背泳ぎで6位
- 5 入賞者(8位以内)一覧【網掛は3位以内】  
個人3種目の入賞(8位以内)がありました。

競技名	種目名	氏名	所属	順位
相撲	個人	<sup>にしむら</sup> 西村 <sup>かずま</sup> 和真	琴浦町立東伯中学校	優勝
水泳 (飛込)	男子3M飛板飛込	<sup>きたの</sup> 北野 <sup>やまと</sup> 大和	伯耆町立溝口中学校	6位
水泳 (競泳)	女子100M背泳ぎ	<sup>うえすぎ</sup> 上杉 <sup>りん</sup> 凜	米子市立福米中学校	6位